



電動車椅子サッカーを体験する子ども

電動車椅子サッカー 体験イベント

白山 子どもたち20人

サッカーのワールドカップの開幕を直前に控え、電動車椅子サッカーへの理解も深めてもらおうと、アヒタ松任（石川県白山市）でこのほど、競技の体験イベントがあった。関東ブロック電動車椅子サッカー協会とN

PO法人「STAND」（共に東京都）が共催した。

電動車椅子サッカーは、1チーム4人の選手が車椅子に付けた専用バンプで直径50センチのボールをはじいてゴールを目指す。07年秋には日本で世界大会が予定されている。

会場では地元の少年サッカーチームの子どもたちなど約20人が参加し、電動車椅子を使ったPK合戦やスラローム競争などを行った。イベントは石川のほか、東京、静岡、名古屋でも同時に開催され、携帯電話を用いて各会場の様子が中継された。

【八田浩輔】

◎ 毎日新聞 ◎

2006年（平成18年）6月8日（木曜日）